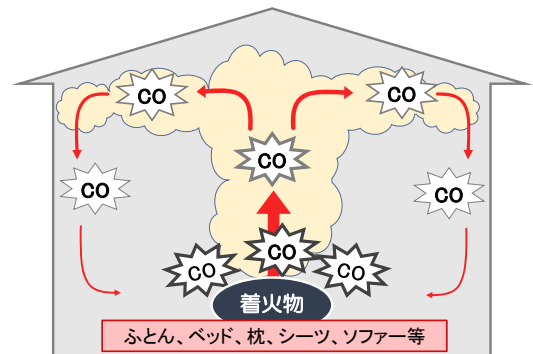


住宅火災で亡くなる方の4割は、 一酸化炭素中毒が原因です。^{※1}

気づきにくい！ 避難できないことも！
とても恐ろしい！



[一酸化炭素が部屋の中で流動拡散するイメージ]

一酸化炭素ってなに？

- 炭素を含む物質が、酸素が不足した環境で燃焼(不完全燃焼)した時に発生する気体です。

いつ何から出てくるの？

- 火災のときには、炎が上がる前、火がくすぶっている状態でも一酸化炭素が発生しています。
- さらに、火災の最盛期で炎が上がっているときにも一酸化炭素は発生しますので、火災で発生する煙の中には一酸化炭素が多く含まれます。
- また、ガスコンロ、石油暖房機などの身近な燃焼機器からも、換気が不十分などの理由で不完全燃焼して、一酸化炭素が発生することがあります。

恐ろしい気体！！！！

- 無色透明で、目にも見えず、臭いもないため、発生しても気づきにくい気体です。
- 一酸化炭素を含んだ空気を吸うと、血液中の酸素濃度が低下し、脳細胞に酸素が供給できなくなって、酸欠状態になり、意識障害を引き起こし、最悪の場合は、死に至ることもあります。

特に恐ろしいのは！！

- 就寝中や酒に酔った状態で一酸化炭素を吸入すると、場合によっては、気づいたときには逃げたくても身体が動かなかったり、意識を失って助けを呼ぶこともできなかつたりするほど、重篤な一酸化炭素中毒の症状に陥ってしまうことがあります。

後遺症が残る場合も！

- 後遺症として最も多い症状は、慢性的な頭痛と学習記憶障害があります。その他、知能低下、意識障害、記憶障害、認知障害、抑うつ、無動性無言症、パーキンソン症候群、失禁、末梢神経障害等も起こることがあります。
- また、怒りっぽい、攻撃的な言葉使い等、人格の変化が生じることもあります。
- これらの症状は、治癒することもあります。数か月から数年続くこともあります。さらに重症な場合には(昏睡から)植物状態に移行することもあります。

(出典)公益財団法人日本中毒情報センター「医師向け中毒情報 概要【一酸化炭素】Ver.2.02」p.2から抜粋

※1 平成26年(1月～12月)の住宅火災における死者数(放火自殺者等を除く)のうち一酸化炭素中毒・窒息(酸素欠乏)を原因とする死者数の割合が4割。

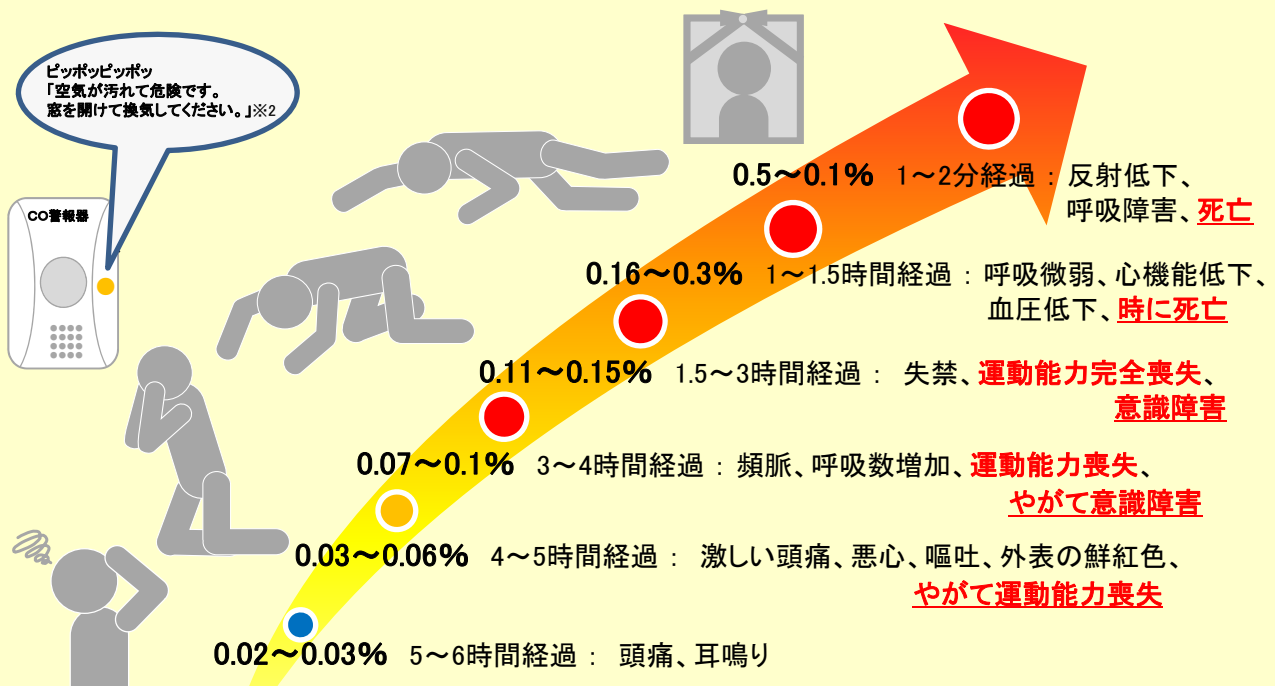
(参考資料)・消防庁報道資料「平成26年(1月～12月)における火災の状況(確定値)」p.1

・消防庁住宅用火災警報器設置対策会議第5回会議資料・資料2「住宅用火災警報器の設置率等と推進状況等について」p.29

一酸化炭素(CO)警報器が 危険を知らせます！

一酸化炭素による身体への影響

空気中の一酸化炭素濃度と吸入時間による中毒症状 (1%=10000ppm)



(参考資料) 東京都住宅防火対策推進協議会
「第11期東京都住宅防火対策推進協議会報告書」(平成26年3月) 資料3表2を基に作成

《 一酸化炭素(CO)警報器が鳴ったら、 すぐに避難行動をとりましょう！ 》

(警報時の一例)

- 「一酸化炭素(CO)警報器」の **黄色ランプが点灯** + **音声** による警報音が鳴ったら
⇒ 速やかに外に出ましょう。
- 「一酸化炭素(CO)警報器」の **黄色ランプが点滅** + **音声** による警報音が鳴ったら
⇒ 速やかに外に出ましょう。
ただし、身体に異変がなければ、窓開けによる換気を行い、
燃焼機器が発生原因の場合は使用を中止するなど、
無理をせずに行動しましょう。

※2 機種によって警報音や警報表示ランプの色・動作に違いがあります。設置機種の取扱説明書をよく見て確認してください。

御自分の家の警報器には、一酸化炭素(CO)検知機能がついているか？ ～ 調べてみましょう ～

- ✓ 住宅用火災警報器に一酸化炭素を検知する機能等が付いた複合型の警報器もあります。複合型であれば、新たに一酸化炭素(CO)警報器の設置は必要ありません。
- ✓ また、単体の住宅用火災警報器が付いている場合には、次回の実替時期に、複合型警報器への変更をお勧めします。
- ✓ 布団にタバコの火がつくようなゆっくりと進行する火災では、煙や炎が出る前にCOが大量に発生します。CO警報機能付きなら無色無臭のCOを検知し、煙を検知するよりも早い時点で警報を発することができます。^{※3}

※3 ガス警報器工業会からの聞き取り調査による。

【住宅用警報器の種類と違い】 ◎は警報器が検知して、危険を知らせます。

| 警報器種類 | ガス警報器種類 | | ガス漏れを知らせる | 火災発生を知らせる | 一酸化炭素(CO)の発生を知らせる |
|--------------|------------------------------|--------------------------------------|-----------|-----------|-------------------|
| | 都市ガス用 | 住宅用火災警報器種類 | | | |
| ガス警報器 | 都市ガス用 LPガス用 ^{※4} | | ◎ | | |
| 火災警報器 | | 煙式 ^{※5} 熱式 ^{※6} | | ◎ | |
| 一酸化炭素(CO)警報器 | | | | | ◎ |
| ガス・CO警報器 | 都市ガス用 LPガス用 | | ◎ | | ◎ |
| 火災・ガス・CO警報器 | 都市ガス用 LPガス用 | 煙式 熱式 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 火災・CO警報器 | | 煙式 熱式 | | ◎ | ◎ |



※4 LPガス用の場合は、ガス検知部の設置位置が「住宅用火災警報器(CO警報器)」とは異なります。

※5 煙が住宅用火災警報器に入ると音や音声で火災の発生を知らせます。

消防法令で寝室や階段に設置が義務付けられているのは煙式住宅用火災警報器です。

※6 住宅用火災警報器の周辺温度が一定の温度に達すると音や音声で火災を知らせます。

普段から大量の煙や湯気が対流する場所等に適しています。

警報器の見分け方

種類についての記載が警報器本体にある場合や図で記載されている場合など製造メーカーにより違いがあります。

警報器本体に貼り付けられた名称や機器の仕様が記載されているシールでも確認できます。

なお、不明な場合には取扱説明書やメーカーのウェブサイトなどで確認するようにしてください。